

## 医事関係訴訟委員会の各回の議事等について

\* 第2回委員会以降は、各裁判所から依頼を受けた具体的な事案について、それぞれの事案ごとに検討し、鑑定人候補者の推薦依頼をするにふさわしい学会を選定している。また、その推薦依頼等の経緯を見極めながら、より良い鑑定人選任の在り方について検討を重ねている。

\* 第3回委員会以降は、鑑定人候補者選定分科会が合同で開催されている。

回	年月日	議事、議題等	推薦依頼事案
1	H13.7.13	(1) 最高裁判所長官あいさつ (2) 委員長互選及び会長代理指名 (3) 委員会運営について、当面の間、鑑定人候補者の選定を試行的に行いながら、鑑定人候補者の推薦の方法等について協議を重ねていくことを決定	
2	H13.10.31	(1) 鑑定人候補者の推薦手続について検討 (2) 鑑定人候補者の選定を行うことを目的とした分科会の在り方や特別委員について検討	6件
3	H14.1.16	(1) 本委員会と分科会の運営の在り方について協議、本委員会と分科会を、当分の間、合同開催することなどを確認 (2) 地域における医療機関と裁判所の交流の状況について、オブザーバーの裁判官が実情を紹介 (3) 東京地方裁判所医療集中部における鑑定手続の改善等の取組について、オブザーバーの裁判官が実情を紹介 (4) 法制審議会民事・人事訴訟法部会における鑑定制度の改正及び専門委員制度の創設の議論について、事務局が報告	9件
4	H14.3.6	(1) 最高裁判所裁判官会議で本委員会に対する諮問が決定されたことを事務局が説明 (2) 日本脳神経外科学会のホームページに裁判所の鑑定手続に関する改善の取組が掲載されたことを事務局が報告 (3) 医療集中部における取組等について、オブザーバーの裁判官が報告	5件
5	H14.5.16	(1) 各地方裁判所の医療訴訟ガイダンス開催結果と地域の医療機関との交流の状況等について、オブザーバーの裁判官が説明 (2) 推薦依頼時及び鑑定終了時の留意事項について検討 (3) 医学関係の学会からの依頼で、裁判官が学会の総会等で講演したことについて、委員、オブザーバーの裁判官、事務局が報告	8件
6	H14.7.8	(1) 諮問事項に関し、鑑定手続の改善、鑑定手続以外での専門的知見の活用、医療界と法曹界との相互理解等のテーマを協議 (2) 実際の医事関係訴訟における争点整理及び専門調停の実情について、オブザーバーの裁判官が説明	8件
7	H14.10.31	(1) 地域における医療界と法曹界との相互理解に向けた取組の進捗状況について、事務局が報告 (2) 最高裁が医療界と法曹界との相互理解に向けて作成した小冊子「これからの医療訴訟」を、医学関係の学会等に送付することを了承 (3) 諮問事項に関し、医療界と法曹界との相互理解の重要性、裁判所の運営改善の必要性、医師等による鑑定への協力といったテーマを協議 (4) 国立大学医学部附属病院長会議等への裁判官の出席を事務局が報告	11件
8	H15.2.3	(1) 国立病院の医師等の鑑定料受領の可否について、厚生労働省から、従来の取扱いを変更し、裁判所からの依頼に基づく鑑定書作成は国立病院医師等の附加職務に当たらず、鑑定料を受領できる旨の通知が発出されたことを事務局が報告 (2) 推薦依頼を受けたある学会から、複数名の鑑定人候補者を推薦したいとの希望があったことから、複数名の鑑定人候補者を推薦することについて協議	13件
9	H15.4.17	(1) 複数名の鑑定人候補者を推薦することについて協議 (2) 平成14年度は36庁の地方裁判所で医療訴訟ガイダンス又は医療訴訟連絡協議会が開催されたことを事務局が報告 (3) 医学関係の学会のシンポジウムで裁判官が講演したことを事務局が報告	13件
10	H15.6.9	(1) 報告書「医事関係訴訟委員会のこれまでの軌跡」について決定 (2) 医療問題弁護団等からの意見書について意見交換	5件